

# — 會 務 報 告 —

康徳9年度土木講習會記事

康徳9年度土木講習會を1月20日より24日迄5日間下記の通り開催せしめ且有意義に終了せり。

## ◎第1日 開會式

開會挨拶、會長 平山復二郎君

### 1 土木工事と地質

大陸科學院 河田喜代助君

### 2 凍上に就て 滿鐵\*道總局 小川新市君

### 3 堰堤コンクリトに就て

水力電氣建設局 岡村隆一君

## ◎第2日

### 4 滿洲に於ける都邑計畫の諸問題

交通部 秀島 乾君

### 5 華北の道路に就て

北支建設總署 山崎 博君

### 6 航空写真測量 (映畫付)

航空写真處 片岡健二郎君

### 7 時局雜感

協和會中央本部長 三宅光治君

## ◎第3日

### 8 柳河堰堤工事に就て

交通部彰武土木工程處 村本順治君

### 9 抗壓材の安定問題に就て

内務省 隨浦大三君

### 10 水利學上より見たる河川工作物に就て

内務省 橋本規明君

### 11 映畫 (特撰ニユス、文化映畫)

## ◎第4日

### 12 砂利道の維持修繕に就て

交通部 辻口利雄君

### 13 夕張新水路況現況に就て

北海道廳 小崎弘郎君

### 14 地下水に就て

滿鐵\*道總局 近藤利八君

### 15 航空土木に就て

交通部黑河土木工程處 廣谷千里君

終了式

閉會挨拶(終了證書授與) 副會長 本間徳雄君

懇親會(國都飯店)

## ◎第5日

見學會 (第2松花江水力發電工事現場) 以上

第1回常議員會

日時 康徳9年1月20日午後2時30分

場所 滿鐵新京支社會議室

出席者 平山會長、坂田副會長、町田部長、風間常議員

佐藤書記長、濱、山田主事外2名

## 協議事項

1 康徳9年度事業計畫今後に於ける事業として差當り下記を決定す

イ、滿洲の特種事情に依る工事資料編纂委員會設置 寒氣、苦力、凍結トトンネル、土質、永久凍土層 洪水、其他資料を多數集め編纂出版する事とす。

委員長 風間武雄君

委員 滿鐵、具島太三郎君、石田聖君、豐島健君、政府、瀨戶政章君、照井隆三郎君、羽中田參次君、澤田利夫君、瀨尾一久君、前田益君、河田喜代助君

其他土建協會員より2名推薦方依頼すること。

ロ、多期施工に関する座談會の開催

3月下旬新京に於て開催する事に決定人員10名程度とし下記要領にて人選することとす。滿鐵3名、政府3名、軍1名、特殊會社1名、其他2名

ハ、地方に於ける通俗學術講演會と映畫の會開催 8月下旬奉天に於て開催に決定奉天在住幹事石田聖君を推薦す。

ニ、9月の第2回通常總會附帶行事として記念講演會並に松花江ダム又は大東港及鴨綠江ダムの見學會を開催すること。

2 工事請負制度の結果報告、佐藤幹事より(別紙印刷物、の通り報告す。此の報告概要に基き報告書作成を平山委員長に1任す。

3 康徳9年度上木講習會報告、書記長より報告

4 新入會員承認の件、下記諸君を承認す。

正會員 河 原 安 治外5名

准會員 武 田 一 郎外7名

學生會員 西 村 謙 一外4名

副會員 下 平 正 留外1名

5 會誌贈呈承認の件 下記の個所に對し贈呈する事を承認す。

イ、滿洲國立開拓研究所資料室

ロ、撫順炭礦資料室

ハ、滿洲國立農事試驗場克山支場

ニ、華北交通株式會社資業局

ホ、關東州廳上木部計畫課

ヘ、慶應義塾望月文庫

、其他濟主事日本土木學會其他の用務に關し3月内地出張の件承認す。 以上

第1回 滿洲の特種事情に依る工事資料編纂委員會

日 時 康徳9年3月14日

場 所 滿鐵新京支社會議室

出席者 風間委員長、具島、照井(代山田、大村)瀨戸、羽中田、澤田、瀨尾、前田、河田、各委員、山田主事、塩月書記

本年度第1回常議員會に於て議決せる滿洲の特種事情に依る工事資料編纂に關し協議の結果下記事項に就き資料蒐集方を各委員に依頼す。

一 記

1 滿洲の特種事情

イ、氣象的特異性

寒 氣

凍 結

季節風

洪 水

以上氣象的特異性(寒氣、凍結、季節風、(ハ)濕地)に就ては防諜上極秘扱に依り關東軍にて一應調査すること決定風間委員長に一任(但し極秘扱のものも一應調査せられたし其の上選擇して採録すべし)

ロ、施工時期の特異性

寒中施工

ハ、地質並に水質の特異性

土 壤 (河田委員に一任)

水 質 (澤田委員に一任)

濕 地 (河田委員に一任)

ニ、工事材料の特異性

木 材 (河田、前田委員に一任)

石 材 ( )

セメント ( )

煉 瓦 ( )

芝 草 (瀨戸委員に一任)

ホ、勞働力の特異性

民 族 (滿、漢、鮮、蒙、ロシア)

衣 食 住

疾 病

賃 金

能 率

以上勞働力の特異性(民族、衣食住、疾病、賃金、能率)に就ては滿洲勞働年鑑に主として依據するも其他資料は羽中田委員に一任

、ヘ、運搬の特異性

籃 子

荷 馬 車

繰

自動車

船 舶

鐵 道

ト、工事資料に關する特異性(土建協會委員決定の上之一任することす)

2 工事資料分類

イ、鐵 道 (具島委員に一任)

- ロ、道 路（瀬戸委員に一任）
- ハ、飛行場（羽中田委員に一任）
- ニ、河川及港灣（鶴岡委員に一任）
- ホ、水 力（瀬尾委員に一任）
- ヘ、上下水道（澤田、豊島委員に一任）
- ト、拓 地（柴田委員に一任）
- チ、特殊構造物（各委員に於て研究の上次回送にて持寄こと）
- リ、労働問題（ ）

上記資料は既発表の圖書、雑誌等より選擇し表題、本名、頁數、著者名、秘綴か否かの區分を明かにして次回  
の打合せに持寄ことゝす。

3 資料の内容

大體下記の如き内容に依り編纂する豫定なり

- イ、施工箇所
- ロ、施工月日
- ハ、施工状況
- ニ、特種事情説明
- ホ、對 策

4 編纂豫定

- 3月14日 第1次打合せ
- 3月30日 第2次打合せに於て特異性並に工事資料表題、頁數、著者、秘綴か否か並に本所有者其他を持寄ることゝす

4月末迄に圖書雑誌等を可成く集めること

5月 } 編纂  
6月 }

7月 印刷並に校正

8月 發行

以上各事項に關し審議17時終了大和ホテルに於て夕食を共にし散會す。 以上

第2回常議員會

日 時 康徳9年3月28日午後3時0分  
場 所 中鋼俱樂部  
出席者 平山會長、坂日、本間副會長、坂上、眞住、黒田、町田、風間、猪口、西川各常議員、佐藤書記長、山田主事、塩月書記

協議事項

- 1 科、技、聯、建設研究部會活動に關する件
- 2 康徳8年度會計決算報告の件
- 3 新入會員並に轉格會員承認の件
- 4 座談會開催の件(午後4時)

以上協議事項に就き佐藤書記長より順次提案協議の結果下記の通り決定し4時20分終了引續き座談會に移る。

- 1' 科、技、聯、建設研究部會活動に關しては種々協議の上平山會長より4月中旬建築方面と打合の上第1回建設研究部會を(13、14、15日)の何れかの日に開催することに決定尚幹事も出席することゝし顧問設置(相談役)並に今後の活動方法を研究することゝす。
- 2 康徳8年度會計、決算報告は別紙決算明細書に依り説明をなす。未收會費に對しては特に嚴重に調査し次回常議員會迄に未收會費徴收名簿を作成報告をなすことゝす。
- 3 新入會員並に轉格會員及會誌交換を下記の通り承認す。

イ 入會希望者

- 正 會 員 山下静夫君外1名
- 准 會 員 小早川信君外4名
- 學生會員 馬殿睦君外6名
- 副 會 員 金守義明君外9名

ロ 轉格希望者

- 學生會員 濱田正巳外24名

ハ 交換先

關東軍在滿陸軍建築技術團發行(建築技術)と(土木滿洲)を交換することゝす。

- 4 滿洲土木工事便覽編纂委員會を設置する事に決定詳細は事務局に於て立案する事とゝす。
- 5 土木滿洲論文に對する最優秀なるものに對し下記賞金を贈る事に決定せり。

- 最優秀編 1名 100圓
- 次 點 2名 50圓 以上

第1回編輯委員會

日 時 康徳9年3月17日午後5時

場 所 中銀俱樂部

出席者 町田編輯部長、瀬戸、山野委員、佐藤書記長、  
濱主事、桑原編輯囑託

土木滿洲編輯全般並に土木講習會講演集印刷出版等に  
關し隔意なき意見の交換をなす特に土木滿洲表紙の體  
裁、内容の比率に就き協議したる上 2、3 箇月分原稿の  
具體的募集方策を決定又今後談題を談議に改め記事の範  
圍を廣くすると同時に雜錄として時報、新刊紹介、人事  
消息地方通信等の記事を掲載するに決定下記の諸君に集  
録を分擔並に依頼することとせり。

1 表紙の體裁 山野善次君に一任

2 雜錄記事に關する擔當

イ 時 報 瀬戸政章君

ロ 新刊紹介 濱田秀雄君、小川新市君、伊藤貞藏君

ハ 人事消息 佐藤書記長 濱主事

ニ 地方通信 山崎善次君、具島太三郎君

資料、講座、談議、執筆依頼先省略 以上

土木學會々員數(康德9年3月15日現在)

特別會員、正會員、准會員、學生會員、副會員、計

41 559 597 148 1,239 2,584

正會員 柳井 諱夫 准會員 渡邊 重 修兩君の訃報に接す本會は甚しく哀悼の意を  
表す。

## 會 費 納 入 に 就 て 御 注 意

本會々員の會費は下記の通り規定されて居ります。尙正會員、准會員には會誌を二種配布の關係  
上臨時會費を納入願ふ事に成りますから御承知下さい。

會 員 種 別	年 額 會 費			第 1 期 分	第 2 期 分
	會 費	臨時會費	合 計	至1月至6月	至7月至12月
正 會 員	1200	600	1800	900	900
准 會 員	900	400	1300	650	650
學 生 會 員	600	—	600	300	300
副 會 員	400	200	600	300	300

備考 ◎會費の納期は第1期分3月、第2期分は9月の2回に分納願ふ事に成つて居ります、納入  
の通知が御手元へ参りましたら直に御拂込下さい。

◎會費納入に就ては送附します振替用紙御利用下さいますと拂込料金不要です、御旅行  
其他御不在の場合でも拂込に支障なき様御配慮願ひます、尙振替貯金事務を取扱はさ  
る地方に在住の方は爲替其他適當の方法にて御送金下さい。

◎新入會員の會費並轉格の場合は月割計算とします。

◎會費御拂込後領收書は普通御送り致しません、特に必要の場合又は御不審の點ありま  
す場合は御一報下さい。